

特別支援学級の子どもたちに寄りそって

特別支援学級の子どもたちや卒業生の笑顔を支えてくださるみなさんの活動



「あすなる青年教室」 特別支援学級卒業生の 学びと集いの場として

「自分の好きなことを学べるのが楽しい」

「みんながいるから楽しい」

「学校の先生や先輩に会えるのがうれしい」

「あすなる青年教室」には、この日を楽しみにしている、たくさん受講生が集います。

あすなる青年教室は昭和43年に「一条中青年教室」として開設され、今年で45年目を迎える歴史のある学びの場です。

市内中学校の特別支援学級を卒業した30歳までの青年を対象として月に1回程度日曜日に集まり、生活に役立つ知識や技術などを学ぶとともに、豊かな社会生活を送るための余暇活用方法を身につけることを目的として開設されています。

今年度も開講式を6月17日に行い、58名の受講生が一堂に会しました。一人ひとりが今年度の活動についての目標を決めるとともに、支援者として活動に参加してくださる保護者や教員も含めた全員で、楽しいゲームを通して仲間意識を高めました。

教室では、調理・スポーツ・パソコンのコースから好きなものを選び、1年間を通して学んでいきます。

調理コースでは、身近な素材で季節に合わせたメニューを3品程度、プロの先生に教えていただきます。学んだメニューを家庭で作り、「家族にお願いしたいって喜んでもらった」との声を毎回聞くことができます。

スポーツコースは、ボール運動やダンスなど毎回違った種目で体を動かします。好プレーや珍プレーも飛び出して、受講生の大きな笑顔と元気な声があふれています。

パソコンコースは簡単な文字入力から始まり、名前シール作成やインターネットの使い方などを学んでいます。指導者の先生と同じくらい上手にパソコンを使える受講生が、慣れない受講生に丁寧に教える姿も見



られます。

11月には受講生が毎年楽しみにしている「研修旅行」があり、昨年度は豆腐作り体験やりんご狩りを行いました。今年はどこに行くのか皆楽しみにしています。

また、今年度は初めて、受講生全員が参加する「体験コース」を実施しました。受講生が今あるコース以外で学んでみたいという要望が一番多かった「音楽」を取り入れられました。

あすなる青年教室は、保護者や特別支援学級担当教員の有志の方々が、休日の活動にもかかわらず支援者として熱心に活動を支えてくださっています。

保護者からは

「一緒に活動しているとパワーがもらえる」

「調理やパソコンコースで学んだことを家庭で生かしている」

「友人や先生に会えると喜んで参加している」

などという声が多く寄せられています。

また教員からは

「卒業生の成長が見られて楽しい」

「受講生や保護者の方の笑顔がうれしい」

このように、歴史と伝統のあるあすなる青年教室は、その時々の受講生の要望や時代の変化に対応しながら、学びと楽しい集いの場となっています。



さつまいも 獲ったぞー

小学校特別支援学級 収穫祭
和光ライオンズクラブと歩んだ34年



市内の小学校の特別支援学級では、参加を希望する学級が集まって、合同学習を行っています。そのひとつに、毎年11月に開催される「さつまいもの収穫祭」があります。秋の1日を田畑のある自然の中で過ごし、さつまいもを収穫する喜びを体験するとともに、他校の友だちや先生たちと親睦を深めるためのこの収穫祭は、宇都宮市小学校教育研究会の特別支援教育部会と宇都宮和光ライオンズクラブで共同開催されていて、今年で34回目になります。昨年度は、特別支援学級がある55校のうち、38校、約300名の子どもたちが参加しました。

宇都宮和光ライオンズクラブは、結成当初から収穫祭の実施のために様々な面から協力をいただいています。畑の提供から始まり、さつまいもの栽培、管理と、子どもたちがさつまいもを収穫できるように準備してくださるとともに、休日の早朝には、苗植え、つる返し、つる切りなどの作業を、特別支援学級の先生と一緒に行ってくださいます。

子どもたちは、この収穫祭に向けて様々な学習をしています。例えば、さつまいもについて調べたり、いもほりのやり方だけでなく、いもほりの場所や行き方についても学習したりします。

当日、子どもたちは、たくさんの人たちの手によって育てられたさつまいもを、スコップを手にして掘ります。力一杯つるを引っ張っている姿、友だち同士協力している姿、掘ったさつまいもを自慢げに見せている姿など、どの子どもたちの姿も生き生きとしています。

収穫の喜びを味わった後は、子どもたちの楽しみのひとつとなっている、和光ライオンズクラブ特製のお昼です。おにぎり、焼きそば、「ロック」などの作りたてのごちそうで、子どもたちは心もお腹も大満足です。

食事の後は、楽しいアトラクションが用意されています。子どもたちが、事前に収穫祭のことなどを書いた手紙を風船につないで空に飛ばします。昨年は、震災に遭われた方への励ましの手紙もあつたようです。自分の手紙がどこに届くのか、誰かに読んでもらえるのか、子どもたちの夢が膨らむイベントになっています。

学校に戻ってから、思い出を作文や絵にまとめたり、和光ライオンズクラブへの感謝の手紙を書いたりします。さらに、さつまいもを用いた重さの学習、版画作成、調理実習と、収穫祭の後も学びは広がっています。

このようにたくさんの人たちに支えられた収穫祭という楽しい合同学習とおして、子どもたちは、教科の学習だけでなく、日常生活にも必要な事柄など、様々な学習を行っています。

クラブ結成35周年記念式典において
市長から感謝状を贈呈いただきました



穫れたよー!

手紙は誰に届くかな?
返事はくるかな?
ワクワク、どきどき!





平石中央小学校



みんなが空を見上げた日

2012年
5月21日

どう見た? どう見えた? 私たちの金環日食



5月21日は晴天に恵まれ、市内各地ではつきりとした金環日食が観測できました。午前6時20分から欠け始めた太陽は、7時36分をピークに約4分間、金の輪となりました。各小中学校でも、自然への関心を高める好機と捉え様々な取組が行われました。

平石中央小学校では、4～6年生が1～3年生の分まで観察用グラスを作り、当日を楽しみに待ちました。美しい光の輪が出現すると「わあ」という歓声がわき起こりました。太陽と同じように欠けた木漏れ日も見て、日食を楽しみました。

西が岡小学校では、PTAの協力を得て全児童分の観測グラスを購入し、登校時間を早めて全員で観測しました。太陽と月が完全に重なった瞬間、児童から「すごい!」「感動的!」という声があがりました。

上河内東小学校では、登校時の安全確保のため立哨指導を行うとともに観測場所を定め、教員が遮光版を使って児童一人一人に日食を観測させました。「もうすぐだ。あとは学校に行つて観よう」と楽しみに登校しました。昇降口で観測すると、再び歓声があがりました。

陽南中学校では、希望者に対して観察会を実施しました。観測用グラスを貸し出した他、太陽観察専門望遠鏡で観測したり、厚紙に開けた穴を通る光を白い板に投影したり、鏡で光を壁に反射させたりと、さまざまな観測方法を実践しました。

田原中学校では地域の天文愛好家の方が講師となり、屋上の天体ドームに設置された屈折望遠鏡を使い、投影板に映し出される像を観察しました。生徒の中には「神秘的だった」「薄暗く肌寒く感じた」などの声があり、世紀の天体ショーを体感することができました。

今回の金環日食の観測は、子どもたちの心に強く残ったようです。本市では、23年後の2035年9月2日(日)に皆既日食が見られます。これからも子どもたちには、自然に対する関心を持ち、進んで関わってほしいと思います。



田原中学校



陽南中学校



上河内東小学校



西が岡小学校



「親子向上講座」では、気軽に子どもと取り組める「年中行事」や、子育ての秘訣について、先輩ママの立場から分かりやすく伝えています。



子どもの体験活動を取り入れながら楽しく学べるよう工夫されている「子育て広場」は、参加者からも好評です。

家庭教育オピニオンリーダー会は、平成4年に、栃木県主催の家庭教育指導者養成講座の修了生が発起人となり設立された、地域における家庭教育支援の実践者の団体です。

現在、本市では、子育て中の親が自信をもち、安心して子どもを育てることができるよう、社会全体で親力の向上を支援するため、多くの事業に取り組んでいます。そのような中、家庭教育オピニオンリーダー会の皆様は、これまで、「親学講座」における講師や、講座の際の託児サービス、「子どもの家」子育て支援事業における相談などを行ってきました。また、最近では、従来から行っていることに加え、「家庭教育サポーター」として、身近な地域での親への支援や、本市人材ががやきセンターで、先進的な親学講座である「親子向上講座」の講師を務めるなど、新たに始まった事業にも積極的に参画しています。

今後は、現在の活動に加え、地域ぐるみで子育て中の親を支援するため、身近な地域における活動を通して、家庭教育支援のネットワークの構築を目指すなど、地域に軸足を置いた活動に取り組んでいくそうです。



家庭教育支援を続けて20年!
宇都宮市家庭教育オピニオンリーダー会



宮子広場の
宇都宮市学校応援制度

宇都宮市では、企業による学校応援の輪を拡大することにより、持続可能な教育基盤の形成を図ることを目的として、企業名やロゴ・キャラクターを印字した物品の寄付を募集しています。

本制度は平成23年2月から実施しており、これまで、「有限会社ウインウィン」「宇都宮土建工業株式会社」「株式会社鈴木公共建築設計監理事務所」「東京ガス株式会社宇都宮支社」「株式会社フケタ設計」の5社から寄付をいただきました。

いただいた封筒や用紙は、学校が保護者や地域の皆様へお知らせする通知などに活用させていただきます。学校の先生からも、多くの感謝の声が寄せられており、企業の皆様にとっても手軽に始めることができる地域貢献活動であると考えておりますので、地域貢献や学校への応援を検討している企業は是非本制度をご利用ください。多くの企業のご応募をお待ちしております。

学校の先生の声

「学校便りや地域回覧など、保護者向けに発行するものには多くの物品を使用することとなりますので非常に感謝しています。」

「企業が学校を応援してくれていることを広くPRできるので、地元企業の学校へのさらなる参画が期待できます。」

宇都宮市学校応援制度
感謝状贈呈の様子(左)



12リットル ¥995

北アルプス生まれのピュアウォーターを、ご自宅へ

『宮っこだより』を
見た!

で、スタートセットに
1本サービス!



画像はイメージです

サンアルプスピュアウォーターは、長野県北アルプスの天然水を磨き上げたお水です。

おいしいお水をご自宅で。

お届けするお水と、温度管理されたサーバーシステムのレンタルで、24時間いつでも約85°Cのお湯と約5°Cの冷水が使えます。場所を取らない縦型で、お部屋に置いてもしっかりスマート!



冷たいお水が
飲みたい時に
すぐ飲める!



いつでもお湯が
利用できるから
お料理や
急なお茶出しに
とっても便利!



小さな
お子様にも
安心の
チャイルド
ロック付き!



オフィスにも
オススメ
です!



小タイプも
ございます。
(高さ57cm)

家計にやさしい。

毎日使うお水だから、低価格がうれしい。配達スタッフが自宅まで届けてくれるから重い水を持ち運ぶ大変さありません。

500mlあたり
約42円!

12ℓ
ボトル

¥995
(税込)

便利なサーバーシステム
定期メンテナンス料込み

サーバー
レンタル料
月額
¥500
(税込)

配達料は
無料!

※3本からの
お届けになります



お家で楽々!
毎月のノルマなし!

とってもおトク!!
初回限定スタートセット!

通常¥4,480を
¥2,100
(税込)

サーバーレンタル
1ヵ月分
+
12ℓボトル
4本

SunAlps
pure water



0120-14-5959
http://www.sunalps.jp

サンアルプス 水

検索

株式会社スナガ
サンアルプス栃木：栃木県小山市羽川 152



ケータイは
こちらから

財源確保などのために有料広告を掲載しています。広告内容については、広告主に直接お問い合わせください。

平成24年9月発行 編集発行：宇都宮市教育委員会事務局教育企画課
〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2704 FAX 028-639-7159
Mail:u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp